

第6回

森三郎童話賞 全国募集

森三郎の世界



「赤い鳥」時代の森三郎

森三郎は、新美南吉・平塚武二と並んで、雑誌「赤い鳥」出身の童話作家として知られています。

愛知県碧海郡刈谷町（現在の愛知県刈谷市）で幼少時代を過ごした昭和の初期、森三郎の周りには自然が満ち溢れていました。その自然は、時にはやさしく、時には厳しくもありましたが、家に帰れば、母や兄弟がいつも温かく迎えてくれました。そうした環境に包まれ、感受性豊かに育った彼が7歳の時に出会った雑誌「赤い鳥」は、たちまち彼を虜にし、童話の世界へと引き込んでいきました。彼の作品には、そのころの体験が息づいています。

いつまでも子どもの世界は愛と夢と優しさでいっぱいにしておきたいという彼の願いは、まだ幼き日の喜びや感動、不安や悲哀の思い出とともに描かれた童話の世界を通じて、読む者に命あるものへの限りない優しさを語りかけています。

応募要項

テーマ 「愛と夢と優しさ」

構成、時代など自由。ただし、小学生が読める程度の日本語で、未発表の創作童話。

原稿規定 400字詰め原稿用紙縦書き 1編につき25～30枚
※パソコン・ワープロ原稿の場合は、縦書き1枚につき20字×20行

応募資格 不問

応募方法 作品には、郵便番号、住所、氏名（ふりがな）、年齢、性別、職業、電話番号、題名、募集を知った方法を記入した応募票をつけ、ばらばらにならないよう一箇所を留めたうえで、郵送又は持参してください。

※応募作品は返却いたしません。入賞作品の著作権は刈谷市に帰属するものとします。

※募集を知った方法については、《①雑誌、②HP、③チラシ、④その他》いずれかの番号を応募票に記入してください。①については雑誌名、④については情報入手先も記入してください。

※休館日は持参されても受付できませんので、ご注意ください。

※応募票は中央図書館のHPからダウンロードできます。必要事項が記入してあれば、専用の応募票でなくても構いません。

応募先 〒448-0852 愛知県刈谷市住吉町4-1
刈谷市中央図書館 森三郎童話賞係

応募期間 令和元年11月1日～12月31日
※当日消印有効

入賞発表 令和2年9月下旬
入賞者のみに連絡、広報、HP掲載

審査員 浜 たかや（児童文学作家）
藤 真知子（児童文学作家）
宮川 健郎（武蔵野大学文学部教授）

賞及び賞金

最優秀賞 …… 1編
賞金50万円、賞状、図書

優秀賞 …… 1編
賞金10万円、賞状、図書

佳作 …… 4編
賞金 3万円、賞状、図書



第1回～5回 最優秀賞受賞作品

◆最優秀賞受賞作品は、単行本として刊行し、全国の公共図書館に寄贈します。



かつなりくん
（刈谷市 マスコットキャラクター）